

第43回横浜港カッターレース

横浜の初夏の風物詩 歴史あるカッターレース

5月24日、横浜市の山下公園前の海上で、第43回横浜港カッターレースが開催され、一般の部に海員組合の本部・関東地方支部の混合チームが参戦した。この「横浜港カッターレース」は、海洋海事思想の普及と国際港都ヨコハマとして、市民に親しみを深めてもらい、さらには港周辺の活性化を目的として実施しており、横浜市が帆船「日本丸」の保存展示場所に決定したことを記念し、1985年（昭和60年）に第1回目が開催された。長い歴史と実績をもつ横浜港のカッターレースは、この季節の横浜市の風物詩となっている。

横浜港カッターレースは、8人1チームで6メートル型カッター（公益財団法人帆船日本丸記念財団所有のカッター7隻と、横浜海洋少年団所有のカッター1隻）を使用し、氷川丸前を折り返す往復360メートルのタイムを競う。

この日は、一般レースに110チーム、女子レースに17チーム、小学生特別レースに5チームと、多くのチームが日本全国から参加し、しのぎを削った。

クルーが力を合わせてオールをこぐと、カッターボートが海面を疾走していく。各チームの応援に駆け付けた家族や友人のほか、山下公園を訪れた観光客も足を止め、海上を駆け抜けるカッターボートに、熱く大きな声援を送り、会場は大いに盛り上がった。

一般レースの予選は全35レースが行われ、本組合からは2艇が出場した。まずは、海員組合Bチームが第26レースに出場し、2分53秒65で見事1位となったが、タイム順により惜しくも予選敗退となった。海員組合Aチームは、第30レースに出場し、3分25秒85の2位で予選敗退した。

決勝は予選タイム上位4チームが熱闘を繰り広げた結果、2分28秒34のタイムをたたき出した『T・I・T CUTTER CLUB』チームが四連覇を達成した。女子レースは、2分47秒22の好タイムで『MY MOTHERS LADIES』チームが三連覇し、小学生特別レースは4分7秒68で『ふじくもジュニア』チームが優勝した。

最後に表彰式が行われ、優勝チームに優勝カップが手渡され、第43回横浜港カッターレースは終了した。

「海員だより」